



2022年2月9日

各 位

会 社 名 イフジ産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 藤井 宗徳
 (コード：2924：東証第一部・福証)
 問合せ先 取締役経営企画部長 原 敬
 (TEL. 092-938-4561)

通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月6日の「2021年3月期決算短信(連結)」で公表しました2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の通期業績予想及び期末配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,344	百万円 1,205	百万円 1,222	百万円 831	円 銭 101.66
今回修正予想(B)	17,100	1,205	1,235	910	110.95
増減額(B-A)	756	—	13	79	
増減率(%)	4.6%	—	1.1%	9.5%	
(参考)前期連結実績 (2021年3月期)	13,825	1,184	1,210	830	101.63

2. 2022年3月期個別業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,151	百万円 1,206	百万円 820	円 銭 100.29
今回修正予想(B)	16,050	1,206	900	109.73
増減額(B-A)	899	—	80	
増減率(%)	5.9%	—	9.8%	
(参考)前期個別実績 (2021年3月期)	12,720	1,197	806	98.76

3. 業績予想の修正理由

売上高につきましては、鶏卵関連事業において鳥インフルエンザの影響により鶏卵の需給が逼迫し鶏卵市場に原料卵が不足する中、輸入卵の調達等原料卵の安定確保に注力し既存取引先への安定供給に努めたことや新規取引先への積極的なアプローチが功を奏し販売数量が予想よりも増加したこと等により、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業において、前述のように販売数量が増加したことに加え、鶏卵相場が高く推移し原料仕入単価が大幅に上昇したため一部の製品の販売価格改定を行い、さらに工場の生産効率向上や歩留まり向上に努めました。また、繰延税金資産の回収可能性について、スケジューリングが可能となった将来減算一時差異について繰延税金資産の追加計上を行いました。調味料関連事業においては、販売費及び一般管理費の低減に努めました。これらにより、前回予想数値を上回る見込みとなりました。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月6日発表)	—	14円00銭	26円00銭
今回修正予想	—	16円00銭	28円00円
当期実績	12円00銭	—	—
前期実績 (2021年3月期)	10円00銭	14円00銭	24円00銭

5. 配当予想の修正理由

上記のとおり通期業績予想が前回予想を上回る見込みとなったことから、期末配当金の予想金額を当初の14円00銭から16円00銭に修正させていただく予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料の公表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上